



父・山口 喜堂さん 息子・山口 琢也さん

「せいだい励め」とうしろ姿で教えた父

せいだい

「社を守り、陰陽の道を次世代へ伝えるのは
大抵やないが宮司の勤めをせいだいおきばり」

「その励ましの言葉、若い時は
ちよつと重荷に感じたこともありました」

「期待は重荷にもなるが、
志をたしかなものにもしてくれる。
やっぱり人は、

誰かに励まされてこそ輝いていられるのや
陰陽の道は、千年の伝統をつなぐ精神文化で
日本人の心と暮らしの道するべでもあるのやから
まだまだきばらなあかん」

「その道しるべがやがて、歳時や行事、
暮らし方にいたるまで

日本文化の型となつたのですね」

「型を守るのが道でありこの時代を見極めて
幸せへの道しるべを次世代に、
せいだい伝えてほしい」

「せいだい」は「精際（せいさい）」から転訛した言葉だと
言われる。つまり、力の限りを尽くすという意。あるいは
「精を出す」が訛ったとの説も。いずれにしても力を
尽くして精一杯がんばるという意味で、人を励ます時
「せいだい、おきばりやす」などと使われる。真心をこ
め、優しい気持ちで使いたい京言葉である。

京都ことば
おもいことばに託して

「ON YOUR SIDE ~一緒にうれしい~」京都中央信用金庫は地域の歴史や文化をささえる活動を応援します。



京都 中央信用金庫

京都市下京区四条通烏丸西入ル TEL.075-223-2525 FAX.0120-201-580(フリーダイヤル) www.chushin.co.jp